

(一般質問)

齊藤伸一 1 職員の意識改革と人材育成について

糸魚川市の合併5年目において、合併時の諸課題以外に、ジオパークの世界認定・新幹線関連等の重要課題があり、加えて今日の経済・財政は大変厳しい状況となっております。

米田市政の第2ステージも8か月目となるが、当市が直面する多くの課題と厳しい行政環境の下で、将来に向かって健全かつ希望の持てる行財政運営を展開するために、全職員が英知を結集して効率・迅速・正確な事務処理及び行政能力アップを図る必要があります。

この難局を乗り切るためには、職員の意識改革と意欲が求められているところであり、意識改革に対する指導と次世代に向けた人材育成は重要な課題となっており、職員の意欲・向上心に向けて、短期的に、長期的にどのような育成・指導を展開されているのか伺います。

(1) 「糸魚川市職員人材育成及び研修に関する基本方針」の実施状況と成果は。

人事管理における人材育成（職員提案・人事考課）

組織の育成による人材育成（係の目標管理・1人1努力目標）

職場環境の取り組み

職員研修

(2) 職員の意識改革に対する指示・指導の進捗と評価は。

(3) 職員の不祥事に対する再発防止対応は（能生中学校教諭の飲酒運転を例えに）。

2 ごみの分別強化の取り組みについて

11月10日（火）に、青海地域において金物類の収集中に、収集車からの出火事故が発生いたしました。

過去にも市民のごみ出しルールやマナーが守られないことによる出火事故があり、市民へのごみ分別強化の取り組みについて伺います。

(1) ごみの分別及び排出にかかわる市民への指導、啓発の取り組みは。

(2) ルール違反のごみに対する苦情や要望及び実態は。

伊井澤一郎 1 農業再生政策について

糸魚川市におきましても農業用地の休耕田・耕作放棄地が多くなり、用水管理や治水、自然環境の保全管理が大変厳しい状況となっております。

当市は、中山間地が多く後継者がいなくなる状況です。農業に対する国政の動きをどのようにつかんでいるか。市政の支援策がどのように進められていくのか伺いたい。

(1) 農業用地について、現実には年々耕作放棄地が多くなっていますが、発生防止策の手立てがあるのか伺いたい。

- (2) 耕作できなくなる方が多くなり、お互いの話し合いで農地の貸し借りをしている方もあるが、行政、農業委員会の考えはどうか。
- (3) 米価が下がる一方で、山間地での生産コストが大きく、後継者がいないため農業をやめる方が多くなっているが、行政の対応策と考えは。
- (4) 中山間地農業に平成16年より中山間地直接支払制度が実施され、農家に有利な支援事業であります。新政権になり実施されるのか伺いたい。
- (5) 糸魚川市農業特別区に認定後3団体が農業参入をされていますが、他に申込企業がありますか。

また、3団体におきましても経営が大変であり、市の支援策はどうか。

- (6) 国の新たな政策で戸別所得補償が平成23年度に実施される予定で、22年度にモデル地区を選定するとしていますが、県下で何地区できるのか伺いたい。
- (7) 農業に担い手が集まらないのは、所得が年々低くなり農業での生活が厳しいためと思いますが、行政の考えはどうか。

2 糸魚川市内小中学校統合による校舎と跡地利用について

特に旧南西海小学校跡地につきましては、統合から5年を過ぎましたが、平成22年7月に「ワークセンターにしよう」として生まれ変わり活用されることになり、地元として大いに期待をしているところです。ただ、旧北西海小学校跡地利用については、具体的な話が進んでいません。今後の行政の方針が見えていません。現状の取り組みについて伺いたい。

- (1) 旧北西海小学校体育館は、市の除雪車の車庫として利用をしていますが、今後の利用計画と見通しは。
- (2) 除雪車庫以外の土地については、地権者の面積配分により区画しようとしているか。
- (3) 地権者の皆さんと土地返還する話し合いがもたれているか、どのような方向で進んでいるか伺いたい。
- (4) 地権者の皆さんの要望と考えをお聞きしているか伺いたい。
- (5) 市内の統合した校舎跡地の利活用の申し出は、インターネットからの申込みにしてはどうか。

3 ジオパークについて

日本初の世界ジオパーク認定は、市長、関係者の皆さんの努力によりまして、糸魚川が世界に認められました。日本各地や世界からの観光客が多く訪れることを期待していますが、24サイトの中に整備しなければならないサイトもあります。

安全確保と道路の整備の必要や携帯電話の不感地区があります。行政として今後もサイトの整備をしていくのか、以下について伺いたい。

- (1) ジオサイトの中で車で行ける所、歩いて行くサイトがありますが、安全対策の整備・計画を考えているか伺いたい。

- (2) サイトの中で携帯電話の不感地区が10箇所とお聞きしていますが、安心のため解消される計画は何箇所か、解消の見込みのないサイトは何箇所か伺いたい。
 - (3) 行政での情報基盤整備が計画・実施されるが、光ファイバーを利用して携帯電話の不感地区の解消ができないのか伺いたい。
 - (4) 市と携帯電話会社各社が協力して、共同アンテナの設置が実現できないか。
 - (5) 市内でも携帯電話不感地区があるか調査されているか。
- 4 火災警報器の設置について
- 平成23年7月までに戸別自動火災警報器が法令で定められ、設置が義務付けられました。市の対応と補助金支援について伺いたい。
- (1) 現在の戸別火災警報器の設置状況を、行政で調査されているか。
 - (2) 行政の支援は市民の安全安心を目的に補助されていますが、市民に公平に進めるべきであり、平成20年以前に設置をした者にも補助が受けられるか。
 - (3) アパート、借家、間借り、市営住宅は管理者の義務であります。早めの指導をされているか。また、補助されているか。
 - (4) 平成23年までに設置しない場合に、罰則が定められているか。
 - (5) 市では高齢者一人住まいの方々に早く設置を進めるべきと思いますが、訪問されているか伺いたい。

+

保 坂 悟 1 地上デジタル放送について

- (1) 地デジの受信準備について、高齢者世帯への周知状況はどうか。また、今後の対応はどうか。
 - (2) 総務省による簡易チューナー給付などの支援があるが、その申請状況はどうか。
 - (3) 総務省の簡易チューナー給付に該当しない世帯であっても、経済状況によっては補助制度を設けるべきではないか。また、市民サービスの観点で安価なチューナーの紹介をすべきではないか。
- 2 子どもたちの体験学習について
- (1) 小中学校のキャリア教育について
食育や環境教育の観点と地元産業を理解することから小学校の6年間で全児童が必ず農林水産業の3分野の体験学習ができる環境にすべきと思うがどうか。
体験学習を通して「働くこと」や「進路」について考える機会を増やすべきと思うがどうか。
 - (2) 中高生の国際理解教育について
ジオパークによる観光誘客を目指す糸魚川市は、将来の経済活動の方

向性として、中国（香港・大連など）との交流は欠かせません。そこで、糸魚川市に必要な人材育成のために中高生の中国派遣事業を検討すべきと思うがどうか。

現行の中学生海外派遣事業の見直しをするようですが、継続と廃止のどちらの方向で検討されるのか。

3 災害対策について

(1) 災害時の避難路について

洪水や高浪などで路面が浸水しやすい場所の避難路確保対策はどのようにしているか。

避難所等の周辺で暗闇になった時や路面が浸水した時に、段差やふたが無い用水などの危険な箇所を知らせる対策はどのようにしているか。

(2) 大和川漁港の高浪対策について

第4離岸堤のボート搬入口が木製の板であるが、安全性に問題はないか。

その搬入口から国道8号までの間が傾斜しており、周辺より低くなっているが、その道の下にある排水路の能力に問題はないか。

その排水路の排水口が浜にあり、砂利で埋まっているので、抜本的な改良が必要と思うがどうか。

4 総合計画中期プランについて

(1) 平成22年度重点施策について

「子ども一貫教育方針」とは何か。

「学童保育事業」「休日お助け保育事業」「遊戯室わんぱくホリデー事業」「子どもインフルエンザ・ヒブワクチン接種助成事業」「病後児保育事業」「児童デイサービス事業」の各事業の内容はどのようなものか。

「安全安心すまいる事業」の内容はどのようなものか。

「ジオパークを核とした交流観光の促進」とあるが、観光客が既に来る前提になっているようだが、どこからどれだけ呼び込むかについての企画（戦略）はどのようにしているか。

(2) 平成22年度新規事業について

「保育園・幼稚園AED設置事業」「遠隔地AED普及事業」の内容はどのようなものか。

田 中 立 一 1 地球温暖化に対する市の取り組みについて

鳩山首相は所信表明演説で温室効果ガスを2020年に、90年度比で25パーセント削減を表明、各国から高い評価を得たのに続き、世界の排出量の4割を占めるアメリカと中国も相次いで排出削減目標を公表しました。削減目標が高い低いはともかく、COP15を前に主要国の目標が出揃い、

その行方が注目されます。

糸魚川市におきましても、環境基本計画をもとに地球温暖化防止に努めているところですが、その取組状況と今後の計画について伺います。

- (1) 糸魚川市の二酸化炭素排出削減の取り組みと成果はいかがでしょうか。
- (2) 課題と今後の計画について伺います。
- (3) 新エネルギーの導入状況
- (4) 公的施設はじめ市内でのLEDの普及・促進対策はいかがでしょうか。

2 新幹線開業と公共交通の整備と課題について

- (1) 新幹線工事に伴う課題や要望について伺います。

これまで新幹線工事により寄せられた苦情や問題はどれくらいありますか。

新幹線対策協議会の主な活動内容について伺います。

新幹線対策協議会の今後の予定について伺います。

- (2) 並行在来線について伺います。

政府与党合意を見直さなければならないと思いますが、いかがでしょうか。

県は新幹線開業後JRが国に支払う施設使用のリース料のうち3分の1を地元負担に充当できれば並行在来線の安定的な財源になるといわれていますが、どう思いますか。

開業後「北越」「くびき野」等新潟方面の高速列車の見直しが懸念されていますが、いかがでしょうか。

- (3) 大糸線について

利用者から以前から要望が出されているトイレ付き車両及び新型車両の見直しはいかがでしょうか。

- (4) 高速道路について、祝日・週末1,000円による交通量の増加に伴い、交通事故の発生状況はいかがでしょうか。

騒音・振動の被害はいかがでしょうか。

3 世界ジオパーク認定と観光振興について

8月に世界ジオパークに認定されて以来、糸魚川市はテレビ、ラジオ、新聞等マスコミにもたくさん取り上げられました。

11月29日の記念フォーラムや、ジオ検定などこれまで多くの事業が行われ、いずれも盛況と伺っています。これからの観光振興と地域の活性化に成果を期待していますが、

- (1) 認定後の観光客の動向について伺います。

宿泊客、お土産、食事の利用はいかがですか。

客からの意見・要望等はいかがでしょうか。

- (2) 受入態勢について

今後の案内看板、説明文の整備予定はいかがでしょうか。

おもてなしのスキルアップを図るためにもサービス接遇検定の実施をすべきと思いますがいかがでしょうか。

フォッサマグナパークの今後の整備予定はいかがでしょうか。

野 本 信 行 1 事業仕分け実施の可否について

昨年9月、12月議会一般質問で、本問題について市長並びに担当課長から導入に向けて調査・研究を進める旨の答弁がありました。

この間、約1年の研究期間が経過し、また新たな行政課題と財政運営の厳しさが増している下で、新年度に是非実施すべきと考えますが、下記について伺います。

- (1) 「構想日本の事業仕分け」の手法に対する基本認識について
- (2) 国レベルで「事業仕分け」を実施していることについて
- (3) 既に実施済み、今後増加しつつある実施する他自治体の認識について
- (4) 当市実施の可否について

2 自主防災組織で安全・安心な地域づくりの推進について

最近、全国各地で発生している地震、台風、豪雨の災害をきっかけに、「安全で安心な暮らしの大切さ」が認識されておりますが、当市の組織化の現状と対策について伺います。

- (1) 組織率の現状について
- (2) 市の組織化への具体的な啓発について
- (3) 新公民館活動との連動策について
- (4) 既自主防災組織の主な活動について

+

+

甲 村 聰 1 若者定着について

(1) 雇用促進事業と人材育成支援事業並びにふるさと就職促進事業の具体策について伺います。

(2) 糸魚川市特有の子育て支援策を打ち出すべきと考えますが、見解を伺います。

(3) 世界ジオパーク認定が及ぼす効果について見解を伺います。

(4) コミュニティ活動や伝統文化・祭が及ぼす効果について見解を伺います。

(5) ふるさと教育や地域愛育成教育の効果について見解を伺います。

2 糸魚川市環境基本計画(案)について

(1) 環境の課題を受け止めた施策の展開について伺います。

鳥獣被害について

里山・森林保全について

農地の保全について

資源・エネルギーについて

地球温暖化について

(2) 環境指標・数値目標の量が少ないように受け止めているが、見解を伺います。

高 澤 公 1 糸魚川市消防体制について

今年は年明けから火災発生が多く、消防署職員、消防団員共に大変ご苦労をされています。消防職員、消防団員は、火災はもちろんですが事故、自然災害などにも出動し、市民の安全・安心に寄与するところは大きなものがあります。

消防署が受け持つ現体制の維持、改善は何よりも優先されるべきものと考えると同時に、今後ますます進む高齢化や市民ニーズの多様化などを思うとき、果たして今のままで対応できるのか不安な面もあります。

加えて、一連の行政改革で消防職員数も減員となっています、来年度の職員採用予定もありません。

最も基本的な市民の安全・安心の確保に対して市の考え方を伺います。

- (1) 防火水槽、消火栓の配置、充足度と機能は万全か。
- (2) 通常業務の職員体制と災害時対応は、職員数が足りているのか。
- (3) 隊員の技術熟練度と維持向上対策は。
- (4) 今後予想される高齢化社会、市民ニーズの多様化対策は。

2 小中学校学力について

- (1) 全国一斉学力テストの糸魚川市の状況はどうか。
- (2) 昨年と比較した結果とその分析は。
- (3) 教育委員会、学校の目的は達成されたか。

田 原 実 1 糸魚川地域医療の現状と課題、特に医師・看護師・保健師の確保について

(1) 糸魚川圏域の医師・看護師の充足率と新潟県内、富山県との比較について伺います。

(2) 救急医療体制の確保、総合病院の各診療科の存続について伺います。

(3) 医師・看護師・保健師等医療資源確保の行政対応について伺います。

(4) 医療機関・市民とのコミュニケーション、認識の共有について伺います。

(5) 予防医療の健康増進策、市民の食生活改善や健康運動の推進について伺います。

(6) 市長方針「日本一の子育て」における将来の医療従事者育成について伺います。

(7) 地域医療フォーラムのテーマ選定、運営スタッフへの市民参加について伺います。

2 糸魚川の「食」の魅力向上と農業・林業・水産業の振興策について

(1) 深刻化する農業デフレ、漁業デフレ、林業デフレへの対応策について伺います。

- (2) 農業・林業・水産業の担い手育成への積極的な支援について伺います。
 - (3) 農業・林業・水産業の組織化、法人化の課題と行政支援について伺います。
 - (4) 売れる農業、売れる林業、売れる漁業を支援する行政シンクタンクについて伺います。
 - (5) 糸魚川市健康スローガン「早寝・早起き・朝ごはん」による米の消費拡大について伺います。
 - (6) サテライトショップ設置や首都圏アンテナショップ設置等による販路拡大について伺います。
 - (7) ジオパークなど当市の交流人口増大策における「食」のはたらきについて伺います。
- 3 バリアフリーのまちづくり推進について
- (1) 糸魚川市交通バリアフリー基本構想及び新潟県福祉のまちづくり条例によるバリアフリーのまちづくり推進の現状と今後について伺います。
 - (2) 市内バリアフリートイレのわかりやすい表示とトイレマップの配布について伺います。
 - (3) 糸魚川海岸ジオサイト（寺町・押上）への連絡、国道8号の横断について伺います。
 - (4) 中央大通り線美野クリニック前へのバス停移動と信号機設置について伺います。
 - (5) 市道蓮台寺線の鉄道下通路の歩道設置等安全確保について伺います。
 - (6) JR糸魚川駅構内の跨線橋とトイレのバリアフリー化について伺います。
 - (7) 糸魚川駅北口南口をつなぐ自由通路建設について伺います。

+

+

渡辺重雄 1 交流人口拡大プランを達成するために

このほど作成された交流人口拡大プランは、世界ジオパークと結びつけ、各目的別の推計を可能にするための実施計画も策定されており、その達成に期待するところであります。

このプランが市民の共通の願いとなり、「ひとづくり」「まちづくり」「しごとづくり」につなげるためには、さらに具体的で分かりやすい戦略戦術が必要であると考えます。

そして、達成のためには、関係機関との関わりが重要であると同時に、今まで障害となっていた課題の解決や新たな企画も必要であると考えます。

これらの観点から、以下の2点についてお伺いいたします。

(1) 関係機関との関わりについて

実施計画において実施主体に関係団体が明記されていますが、具体的にどのような対応をお願いしているのかお伺いします。

(2) 実施計画達成のための課題と見通しについて

めざす数値の推計が目的別に明記されていますが、これらを可能にするための課題と見通しについてお伺いします。

2 効果的な広報公聴のあり方と各種要望の取扱いについて

私は、従来から「情報力の差が組織の差を生む」と考えており、受信に際しては「生きた情報を、生きた組織で、生きた意思決定」を図り、発信に際しては「情報をもっと早く、確実に、簡単に」を提唱しています。

特に、地方分権の社会は自治体や地域の自己責任能力が一層強く求められる時代となっており、開かれた市政の一層の推進と市民と行政との協働によるまちづくりの推進も求められています。

このためには、行政はもっと情報力を高め、市民との情報の共有を図り、各種要望にも迅速に対応する必要があると考えます。

こうした観点から、以下の2点についてお伺いいたします。

(1) 広報公聴活動の仕組みと課題について

最近、市政で大きな問題になっているのに、詳しく説明がなされていないという声をよく聞きますが、広報公聴の仕組みと課題についてお伺いします。

(2) 各種要望の現状と対応について

各種要望に対してその対応や取扱い、処理方法などに苦言を呈する市民も多いようですが、各種要望の現状と対応についてお伺いします。

+

池田達夫 1 糸魚川市における自殺の現状とその対策について

糸魚川市における自殺の現状は、大変深刻なものとなっています。全国的にみても、全県的にみても高い比率となっており、中でも働き盛りと高齢者の女性が多くなっています。緊急に対策が求められています。

(1) 市内の自殺の現状は。

(2) なぜ全国、県の数字より多いのか。

(3) 予防策への取り組みは。

市の基本方針

「自殺対策推進協議会」の活動

「高齢者におけるうつ病対応マニュアル」の普及と活用

市民への啓発活動は十分か。

専門医療機関との連携は。

福祉関係職員への研修は。

(4) 一人暮らし高齢者の現状は。

2 海岸漂着物の現状と処理対策、発生抑制対策について

7月に「海岸漂着物処理推進法」が公布・施行されました。45キロメートルの海岸線をもつ糸魚川市でも、この法律の活用と対応が迫られています。

(1) 海岸漂着物の現状は。

- (2) 海岸漂着物による事故、野生生物への被害は。
- (3) 「処理推進法」に基づく市の対応について
国の「基本方針」、県の「地域計画」の情報は。
県の「対策推進協議会」の呼びかけは。
- (4) 発生抑制対策について
「処理推進法」に基づく取り組みの具体化は。
市民への啓発活動は。

伊 藤 文 博 1 行政改革・内部監査の推進について

4月の人事異動で、総務課に行政改革・内部監査担当の課長補佐を配置しましたが、内部監査の計画について伺います。

- (1) 内部監査の目的、実施頻度と監査方法は。
- (2) 内部監査後の処置は。
- (3) 行政改革推進に対する内部監査の役割は。
- (4) 内部監査の進捗状況は。

2 認知症への取り組みについて

「認知症になっても住み慣れた町でいつまでも元気に」という理想に向かって認知症へ対応することが求められています。糸魚川市における認知症対応について伺います。

- (1) 糸魚川市における課題は何か。
- (2) 介護保険制度では補えない課題とその対応は。
- (3) 在宅介護に対する手厚い支援が必要だが、糸魚川市独自の政策は。
- (4) 地域社会全般の認知症理解を促進するための施策は。

3 「日本一の子どもを育てる」について

市長は「日本一の子どもを育てる」を提唱し「こども課」の設置を計画しています。その基本理念と具体的施策について伺います。

- (1) こども課設置の目的は。
- (2) こども課の業務分掌範囲は。
- (3) こども課の課題と対策は。

古 川 昇 1 世界ジオパークと地域理科教育の振興について

(1) 世界ジオパークの教育面での推進

世界ジオパークの目的として「優れた地質の遺産を保護し後世に伝える、教育・研究に生かす、見学旅行により地域を元気にする」とあります。

この目的の中で教育にどのように生かそうと考えていますか。

- (2) ジオパークと地域の理科教育推進を進める中核として糸魚川市理科センターの役割について、伺います。

2 都市公園等の維持管理の現状と運営について

- (1) ジオパーク観光の中心施設であるフォッサマグナミュージアム周辺の美山公園について、その整備、充実は重要と考えます。施設の玄関先とも言える庭園の今後の美化施策はどう考えていますか。
 - (2) 広域農道の蓮台寺大橋付近の「夕日スポット」施設の管理、周知宣伝はどこが担っているのでしょうか。
- 3 系魚川市管内の交通事故の現状と対策について
- (1) 夏から秋期の交通事故についての傾向と今後冬期に向けての対策は。
 - (2) 寺町地区の跨線橋から旧8号と国道8号へ抜ける交差点事故について
- 4 国体（ソフトボール競技少年男子）の評価と今後の課題について
- 10月3日から3日間、美山・能生球場で行われた国体ソフトボール競技に多くの市民が観戦し、全国レベルの素晴らしいプレーに接し、関心が深まったと思います。
- 国体実施までの長期間、準備を進めてきた国体推進室をはじめ教育委員会、関係部所、各団体に敬意を表します。
- 参加チームやその応援団から当地の運営や「もてなし」に高い評価をいただいたと聞いています。今国体を開催して当市の評価と今後の課題を伺います。
- (1) 競技運営と宿泊所等のもてなし部分で評価された点はどのようなものか。また、苦情等の意見は寄せられていますか。
 - (2) 市民からの評価、意見はありますか。
 - (3) 国体を契機にしてソフトボール競技の振興を図るとされていましたが、どのような振興策をお考えでしょうか。

新保峰孝 1 景気・雇用対策について

- (1) 市内の景気動向をどのようにとらえているのか。
 - (2) 政府がデフレに入ったことを正式に表明したが、円高の進行とともに地域経済、雇用への悪影響が懸念される。どのように対応しているか。
 - (3) デフレ対策には購買力を高めることが重要だ。そのためには最低賃金の引き上げや正規雇用を増やすこと、くらしを応援する施策を講じることが大事だ。市として市民のくらしと雇用を守るため、福祉の充実や独自の景気・雇用対策を強化する必要があるのではないか。
年末・年始を含め総合相談窓口を設置する考えはないか。
市独自の景気・雇用対策の強化をはかるべきでないか。
国に対して景気・雇用対策の一層の強化を求めるべきでないか。
- 2 北陸新幹線と並行在来線について
- (1) 北陸新幹線整備工事の現状と見通しはどうか。
 - (2) 北陸新幹線整備にともなう第三セクター鉄道の検討状況はどうか。
経営計画、負担割合（県・市の負担割合）についてはどうか。

新潟県は、県単独を考えているのか各県連携の広域化を考えているのか。

J R資産の扱いについてはどのように考えているのか。

上下分離方式等、さまざまな方法が考えられるが、どのように考えているか。

- (3) 政府・与党合意の見直しを強力に求めていく必要があると思うがどうか。
- (4) 北陸新幹線整備に関連する市の負担はどれくらいか。また、南北自由通路・駅舎等整備についての考え方はどうか。
- (5) 北陸新幹線開業と大糸線の関係はどうか。

3 地域交通対策について

- (1) 地域交通システムの現状とその改善について、どのように検討されているか。
- (2) 生活交通確保対策事業の改善と住民の利便性向上をはかるため、現システムの再見直しを行うべきでないか。
- (3) 実情に合った改善をはかるためには、ジオパークも含めて利用者の声を反映した検討が必要ではないか。
- (4) バスと鉄道を基幹とし、デマンド交通を組み合わせた地域交通システムを利用者の意向が反映される形で検討すべきではないか。

鈴木 勢子 1 「にいがた防災戦略」と市防災計画について

災害時における県・市とも防災計画は万全のようですが、その要となる自主防災組織には課題も見えております。そこで次の点についておたずねいたします。

- (1) 糸魚川・能生・青海の3地域の自主防災組織のその後の状況はいかがか。地域格差が生じている中で、自主防災組織を高めていくための今後の取り組みはいかがか。
- (2) 県総合防災情報システムとの情報共有化と、県GISと市との二重活用についての課題はいかがか。
- (3) 災害時要援護者（高齢者・障がい者・乳幼児ら）の避難支援体制は万全であるのか。またそれぞれの個別計画が作られているのか。

2 赤い羽根共同募金について

「赤い羽根共同募金会糸魚川支会」と市社会福祉協議会が毎年行っている共同募金について、次の点についておたずねいたします。

- (1) 糸魚川・能生・青海地域の共同募金方法とその実績はいかがか。
- (2) 平成20年度の活動実績で約1,500万円が集まっているが、その使途に問題はないのか。
- (3) 生活困窮が増加している昨今、「1世帯1,000円を目安に」とされていることに市民の反発の声が寄せられている。戦後、「相互扶助精

神」で始められた共同募金は今、本来の精神に立ち金額は記載すべきではないと考えるがいかがか。

3 男女共同参画推進事業について

1999年に制定された国の男女共同参画社会基本法は、今年で10年目を迎え、各自治体ではさまざまな政策が展開されております。そこで次の点についておたずねいたします。

- (1) 平成19年度に策定された市のプランの推進状況はいかがか。
- (2) 市民に浸透していない事業の一つとも言われているが、その要因をどのようにとらえているのか。
- (3) 近隣の自治体との格差が広がる中で、今回の組織見直しでどのように所管担当を位置づけ、事業推進の展開を図っていくのか。

吉岡静夫 1 「医療生活協同組合姫川病院」への対応について

突然の「破産・閉院」が患者・出資者・債権者に残した影響は、2年半以上経った今も続いている。さらに、このことによる当地方の医療過疎は量・質ともに大きなものがある。

前回、9月定例会の際、市長は「同病院の管理は破産管財人の管理下であり、市としては裁判の推移を見守っていきたい」と言われたが、いま現在、それ以上の動きはないのか。また、市が主動しての動きといったものはあるのか。さらに、当時、市から同病院に支出された2,300万円について、いつ、誰と誰の間で、どこで、どのようなかたちでやりとりがあり、動いていたのかについて明確にされたい。

2 新幹線がらみの地元負担金問題。特に当市にあつては、駅舎関連の整備事業問題、在来線対応問題、開通後の利便性の問題などについて

このことについて、特に、駅舎関連の整備事業費などについては、先の9月定例会で激しい論議が交わされ、市長の見直し表明などもあった。その後、特別委員会などでも論議が重ねられてもいる。

当初概算事業費15億5,000万円が、今年3月45億3,000万円。社会情勢の変化、耐震強度や工法上の変化など、それなりの事情があったにせよ、あまりに突然の変化と公表ではなかったか。

さらに、糸魚川駅橋上化自由通路都市計画決定素案作成業務委託料としてすでに462万円が支払われている。

ほかに、停車回数、大糸線・北陸線などの在来線対応などもある。

市民はこれらの内容・動きなどを知らなければならない。内容・動きなどお伺いしたい。

3 「後期高齢者医療制度」への取り組み・対応について

これまでの老人保健医療制度に代わるものとして2006年6月の医療制度改革関連法の成立により、2008年4月に施行されたのが後期高齢者医

療制度。これが「平成のうば捨て医療」として多くの国民から批判を浴びました。

政権交代を果たした民主党は、当初から当制度については「廃止・見直し」を掲げてきたところではありますが、いまのところ宙に浮いたままとなっており、国民の不安を集めております。

ということで、このことについて、国・県の情報待ち、動き待ちという対応で良いものかどうか。

市長としてこのことについてどう受けとめているか、どうしたいと考えているかについてお伺いしたい。

4 「公民館」のあり方について

このことについては、諮問では「コミュニティセンター機能と併せ、生涯学習活動と地域コミュニティとの連携した活動を推進する」、答申では「市町それぞれ特色ある制度として長い歴史と背景に大きな違いがある中で、市民生活と密接にかかわってきた」と、それぞれ現状認識を深めることと、その線上でのそれなりの対応を深めていくことの重要性を改めて表明している。

この後、このことに関しては、慎重な検討・対応が進められていくことになろうかと思いますが、所見を伺わせていただきます。